

MEC120 宛

2025年7月11日
競技長

2025 MEC シリーズ 第2戦 ブリーフィング資料

■公式予選・決勝レース共通

1.コース状況

・コース改修について

- ① 東コース路面張替え
- ② カーブストーン（縁石）の改修（T2,T8,T9,T14,T17）

2.ピットレーン通過速度について

- ① 規制速度は、60km / h 以下。

3.ピット出口からのホワイトライン

- ① ピットから離れる車両は、ピットレーン出口から第1コーナーにかけてホワイトライン(図1)を含んだ右側を走行すること。
- ② トラック上を走行中の車両を制限するものではない。

4.ピットレーン出口の信号機について

- ① “レッドライト”が点灯しているときは、コースイン不可。
- ② “青色点滅”時はストレート走行車両に注意すること。

5.信号合図

競技中の信号合図は、フラッグおよびライトパネルによって行われる。

6.国際モータースポーツ規則 付則H項

- ① 黄旗区間は確実に減速すること(追越し・スピン・オーバーラン厳禁)。
なお、黄旗は手前複数のポストでも提示される場合あり。
- ② オレンジディスクは、「コントロールタワー前の0ポスト」、「西ストレート管理室前(14.5ポスト)」の2ヶ所で提示。
(速やかにピットへ戻って車両確認すること)
- ③ 青旗は、予選中には追い越されようとしている車両に対して提示。また、決勝中は周回遅れにされようとしている場合に提示。



図1 ホワイトライン

7.コース上での停車

- ① 可能な限りコースから離れた安全な場所に停車させること。
- ② 車両から離れる場合、コースは横断せずオフィシャルの指示に従うこと。
- ③ 再スタートする際は、後続車および周りの状況をよく確認してから走路へ復帰すること。

8.クラッシュ・事故にあった場合

- ① ドライバーは、すぐに車両から出て安全な場所へ移動すること(次項②の場合を除く)。
- ② 援助が必要な場合には、無理に動こうとせず、救出チームの到着を待つこと。

9.ショートカット / 走路外走行(トラックリミット)

- ① コース上のショートカット部分(東ショートコース路等)は通過不可。
- ② 白線上は走路の一部とみなすが、縁石は走路外となる。
- ③ 四輪とも白線を越えた場合は、走路外走行と判定され審議の対象とする(アドバンテージの有無、危険性の有無を検証)。
(シリーズ規則 第11章 第58条 参照)

10.ピット作業

作業エリアではいかなる停車の場合もエンジンを停止させなければならない。

ドライバー交代時にはトランスポンダーの積み替えを行うこと。ただし燃料補給時での積み替えは禁止される。

■公式予選

11.ファストレーンへの進入

ファストレーンへの進入は走行開始2分前とする。

なおピットガレージから作業エリアへの移動については、各クラスの公式予選開始5分前とする。

12. スロー走行

極端なスロー走行は行わず、タイムアタックしている後方車両に注意を払うこと。

13.黄旗区間の運用

黄旗区間を通過した車両は、当該ポスト、レースコントロールで厳正に管理する。なお、当該ラップタイムは採用しない場合がある。

■決勝レース

14.決勝スタート方法

スタート方法はローリングスタートとする。v.Granzクラスを第1グループ、VITAクラスを第2グループとして2グループに分けてローリングスタートを行う。フォーメーションラップの後、スタート可能となった場合、T17付近のコースサイドで「GRID」ボードが提示される。その後オフィシャルカーはピットインし、先頭車両がペースメーカーとなる。無用な加減速は禁止する。自車がスタートラインを超えるまで追い越し禁止となる。

15.フォーメーションラップでスタートできない車両

- ① フォーメーションラップスタート 1 分前ボード表示後エンジンが始動できない、その他理由でスタートできないドライバーは、直ちに手を挙げて合図をすること。グリッドマーシャルが黄旗で合図する。後方の車両は、十分に注意してスタートすること。
- ② スタートできなかった車両は、全車スタート後にオフィシャルが援助介入する。再スタートできた場合は、途中追越しすることなく、最後尾スタート可能となる。

16.レース中のドライバー交代を伴うピットストップ義務 (2025 MEC シリーズ規則 第 27 条参照)

レース中、2 回の 200 秒以上のピットストップ/ドライバー交代が義務付けられる。
給油を伴うピットストップは 200 秒以上とする。また、ドライバー交代は 140 秒以上のピットストップとする。



17.給油作業

SC 導入中、赤旗中断中の燃料補給はすでにピットインしている車両を除き認められない。
燃料補給中はドライバー交代を含む全ての作業が禁止され、ドライバーは乗車してはならない。
また少なくとも 1 名のピットクルーが消化要員として消火器を持って待機しなければならない。

18.セーフティカー

- ① 必要があればレース中の先頭車両の走行地点に関わらず直ちにコースに入る。
- ② 競技車両はセーフティカー後方に“一列”に整列し走行すること。
- ③ セーフティカーの呼び戻しが決定されると、セーフティカーはオレンジライトを消灯し、その周回が終了した時点でピットレーンに入る。この時点でセーフティカー後方に位置する先頭車両が走行ペースを決定することができ、必要であればセーフティカーとの車間距離を車両 5 台分以上としても構わない。
この間もすべての競技車両は追い越すことなく、1 列の隊列を維持して走行すること。
- ④ ドライバーや競技車両、オフィシャルが危険にさらされている状況が解消されたと判断されるまで、非競技化状態を継続する。ドライバーは SC 導入が複数周回に及ぶことを予め理解しておくこと。
- ⑤ SC オレンジライト消灯場所の目安は T13~T14 スプーンカーブ立ち上がり。
- ⑥ **競技再開の時、非競技化解除地点~スタートラインを通過するまでは追越しは禁止とする。**
(国際モータースポーツ競技規則付則 H 項「セーフティカー」に基づき運用)



19.レース中に課せられる罰則(反則スタート及びその他罰則)

- ① タイムペナルティは、T+Car No.で指示 (下図 2)
- ② ドライブスルーは、D+Car No.で指示 (下図 3)
- ③ ペナルティストップは、P+Car No.で指示 (下図 3)
ペナルティストップエリアはピットレーン出口右側 (下図 4)
- ④ レース中に上記罰則が実施できない場合は競技結果にタイムを加算

20.レースの再開手順および赤旗ライン

- ① 赤旗によりレースが中断になった場合、赤旗ラインを先頭に 2 列(スタガードフォーメーション)の配置で停止すること。
レース中断後にピットレーンに進入した車両はペナルティが課される。
- ② レースが再開される際のすべての車両のグリッドは、赤旗ラインに停止した順に配列される。
- ③ 赤旗ラインの後方に停止した後、エンジンを停止すること。グリッド上には登録されたピット要員と競技役員のみが立ち入り可能となる。
グリッド上では、給油(すべての液体の補給)およびタイヤ交換以外の作業が可能となる。
- ④ レース再開 5 分前からボードを提示し、カウントダウンを開始する。
- ⑤ グリッド上での作業は、3 分前ボードが表示されるまで、許可される。

- ⑥ 赤旗ラインと先頭車両の間の車両は、3分前ボード提示以前に、コースの周回時間を考慮し、適切な時点でオフィシャルカーの先導によりコースを1周して後方グリッドにつく。
- ⑦ 1分前ボードが提示されたらエンジンを始動すること。
- ⑧ スタートシグナルのグリーンライトが点灯すると、セーフティカーの先導によりレースが再開される。
- ⑨ 赤旗によりレースが中断し、レース再開不可となった場合は、レース中断の合図が出された周回の1つ前の周回が終了した時点の競技結果を採用する。
ピットストップ/ドライバー交代義務を満たさない場合はMECシリーズ規則 第33条 9)の通りとする。

21. チェッカー後

ピットインし、オフィシャルが誘導するパークフェルメに進むこと。

車両保管解除まで競技車両にはオフィシャル以外、一切手を触れてはならない。



図2 タイムペナルティ



図3 ペナルティストップ/
ドライブスルーペナルティ



図4 ペナルティストップエリア

■ 添付資料

- ① スタート進行表 ② セーフティプラン

以上